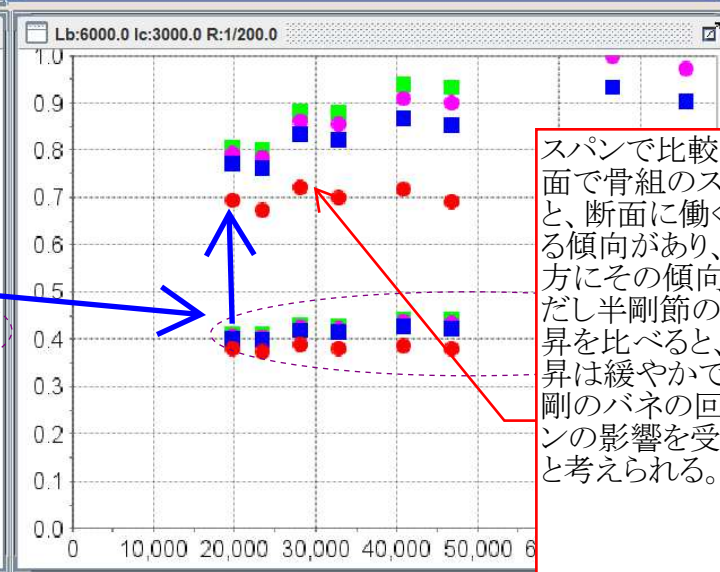
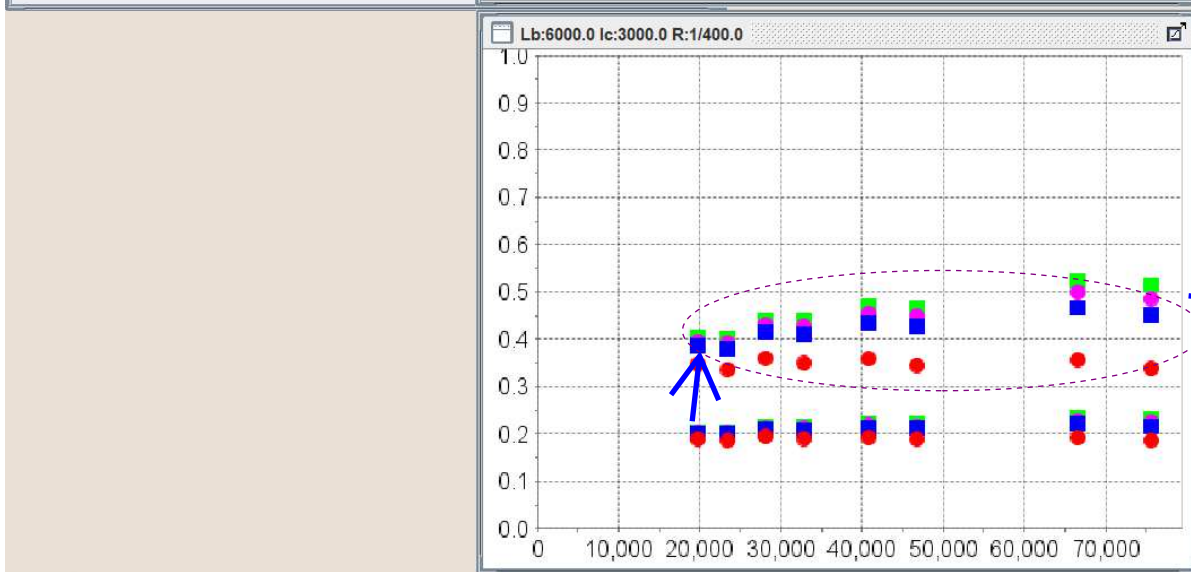
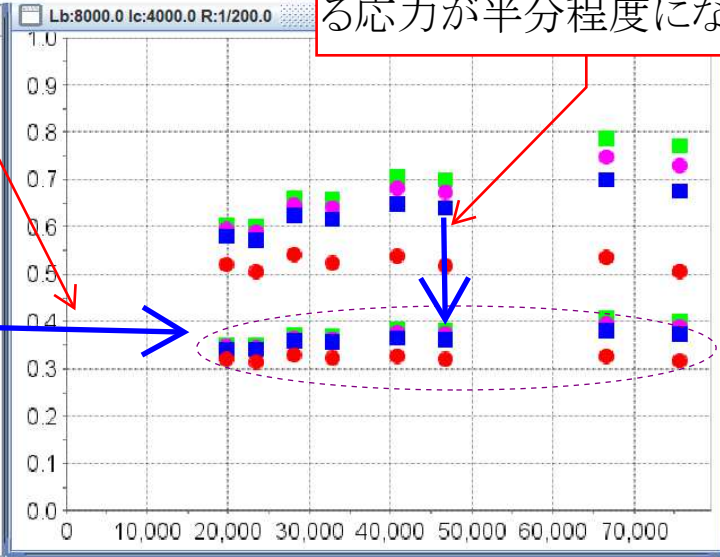


大体剛接合と半剛節で、変形角でそろえたときは出ている応力が半分程度になる。



スパンで比較したときに、同断面で骨組のスパンが短くなると、断面に働く応力は大きくなる傾向があり、剛接・半剛節両方にその傾向が現れている。ただし半剛節の上昇と剛接の上昇を比べると、半剛節の上昇は緩やかであることから、半剛のバネの回転変形によりスパンの影響を受けにくくなっていると考えられる。